

「授業改善のための学生アンケート」2022年度前期 顕彰授業における工夫

2022年10月10日

白百合女子大学FD推進委員会

2022年度前期「授業改善のための学生アンケート」の顕彰授業における工夫をご紹介します。授業のあり方は授業の数だけありますが、顕彰された授業における工夫を知ることにより、よりよい学びのためのヒントが得られる機会になればと願っています。

【参考】 顕彰の対象となったアンケート項目は以下の7項目です。

- Q3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。
- Q4 この授業の内容を十分に習得できましたか。
- Q7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- Q8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。
- Q11 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。
- Q13 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。
- Q14 この授業の内容に興味を持つことができましたか。

< 顕彰授業 >

「キャリア研究」 山本 みどり（文学部英語英文学科非常勤講師） 2022 金1 前期

“キャリア”とは“人生”です。この「キャリア研究」は、自身の将来を考え、将来に向かい、これからの学生生活をどのように過ごしていくのかを明確にする授業です。自分の将来のために毎週金曜日のこの時間は正直に、真剣に、自分と向き合ってください。…毎年初回授業の冒頭に、このようなお話をしています。今回の顕彰は履修学生のみなさんが、この最初のお願いを受け止め、真摯にご自身と向き合ってくださいました結果だと感じています。

授業は現在の雇用環境を理解するところからスタートします。その後、過去の自己分析、今の自己分析、現在の大学生生活の整理、今の時代を知ること、と進みます。外部環境と今の自分の現状を正しく把握したうえで、では今「やりたいことは何か」を考え分析し目標を設定、授業後半の1ヶ月半余りで達成に向けて取り組んでいただきます。取り組むことは何でもよい、“やりたい！”がいちばん大切です。日々の生活でその目標に取り組んでいただきながら、後半の授業は、女性の働き方、経済について、就職活動について、触れていきます。また“やりたいこと”は取り組み前と取り組み後にプレゼンテーションを行い、その過程をレポートにいただいています。失敗してもよい、違う目標に変化してもよい、その過程で気づいたことや、やりたいことを行動に移した、という事実が重要、とみなさんにお伝えしています。

この前期も、学生のみなさんの数だけ、想いのある豊かな“やりたいこと”が出揃いました。ヨーデルが歌えるようになりたい、株の勉強がしたい、朝早く起きられるようになりたい、料理ができるようになりたい、ウクレレが弾けるようになりたい、字を美しく書けるようになりたい、…いずれも学生のみなさんが自分で考え判断し、選択した目標です。授業においては一人ひとりを知ること、一人ひとりの取り組み状況を理解することに努めました。

自分との約束を果たしていくことで“やりたいこと”が“できること”に変化していきます。そうすると自分への信頼が高まり自信が生まれ、さらに先への一歩が踏み出せるようになって考えています。この授業での取り組みが、その先の将来を自分で考え判断し、選択すること（＝キャリア自律）に繋がるよう、設計をしています。大学生活にチャンスはたくさんあります。学生のみなさんが、やりたいことを“やりたい！”だけで終わらせず、“できた！”を増やして将来の可能性を広げられるよう、これからも支援をしてまいります。

履修学生のみなさん、意欲ある参画、ありがとうございました。



白百合女子大学 FD 推進委員会